

ICTの活用に向けて

文部科学省が推進している「GIGAスクール構想」に伴い、呉市においても令和3年度から児童1人1台のタブレット端末が貸与されます。そこで、教職員も、ICTを活用した児童の学習活動の支援に向けて、研修を進めています。

1月には、呉市教育委員会が作成した「呉市が目指すICT教育」やタブレットモデル実践校の波多見小学校や広南中学校の動画を見ながら研修しました。また、先日は、呉市の視聴覚教育部会の会長をされている波多見小学校の相模昇校長先生を講師にお迎えして、タブレットの基本的操作を学び、授業支援アプリ（ロイロノート・スクール）の演習を行っていただきました。



研修する中で、授業改善や業務改善の可能性が広がってきました、学んだことを、今後の授業づくりや学校運営に活かしていきたいと思えます